

教科等研究会（小学校家庭部会）

平成 29 年度 研究活動のまとめ

1 研究テーマ

くらしをみつめ、家族の一員としてよりよい生活を創り出す児童の育成
～児童が達成感をもち、家庭での実践につながる授業づくり～

2 研究経過

第 1 回			第 2 回			第 3 回			第 4 回		
5/25	20人	乙女小学校	8/8	保健センター	実技研究会	12/1	木山中学校	農山幸雄教諭	1/26	乙女小学校	甲斐郁子教諭

3 研究の概要

(1) 研究の内容

①調理実習とソーイング実習

パーティー料理で簡単にできるピーマンのケチャップライスづめやカレーパン、サラダや豆だご、「御船川」と呼ばれる水前寺菜を使ったおひたしやゼリーの調理実習を行った。食文化推進委員の方々を GT として招き、食の大切さについての話を聞いたり、簡単レシピや調理のポイントなどを教えていただいたりして、食への関心を高めることができた。できあがった料理を会食し、地元の野菜・旬の野菜を用いるよさを再認識した。ソーイング実習では、弁当つつみ作りを行った。集中して楽しく製作することができ、手作りのよさを実感した。弁当つつみ作りは、5年「わくわくミシン」の布を使った見本作品にできる実技研だった。



【グループでの調理実習】



【調理実習後の会食の様子】



【弁当つつみの製作】

②研究授業

◇題材名 中学2年C「日常着の活用」 授業者 木山中学校 農山 幸雄 教諭

中学校技術・家庭部会との合同研修を行い、中学校家庭分野の授業を参観した。本題材は、衣服の機能について関心を高め、衣服の選択や手入れについての基礎的・基本的な知識や技能を習得し、衣生活の自立につながることのできる題材である。さらに、和服と洋服の構成や着方の違いに気づき、実際に和服を着用する体験的学習活動を通し、和服に慣れ親しみ、伝統的な衣装のよさを学ぶことをねらいとしている。本時は、GT の説明を聞きながら着付けを体験した。生徒は、和服と洋服の構成の違いや和服の着方について理解し、ペアで協力しながら着用し、和服の知恵や装いの楽しさを味わっていた。



【ペアで着付け】



【GT の指導で着用】



【たたみ方を指導】



【GT の話を聞く】

(2) 成果と課題

○児童の実態を把握し、授業者が児童一人ひとりのくらしを知り、個に応じた支援や実態

に即した授業実践を行うことができた。特に配慮が必要な児童においては、児童が安心して学習に取り組むことができるように支援をし、家庭との連携を図りながら学習を進めることができた。

- 学習活動にゲームや買い物の場面を設定し、問題解決をする授業づくりを行うことで、自分のくらしをみつめ、どのように工夫すればよいかという課題をもって、主体的に学習することができた。
- 中学校技術・家庭部会との合同研修を行うことで、小学校や中学校の実態、小学校の家庭科学学習で付けるべき力、それが中学校の学習でどう深められるのかなど、小中の連携を図ることができた。今後も、合同研修会を続けていくことは有意義である。
- 実技研修では、食文化推進委員を招いての調理実習やソーイング実習を実施し、楽しく役に立つ研修ができた。また、ふるさと伝統野菜や旬の野菜を食生活に取り入れることの大切さや手作りのよさを実感することができた。
- 他教科との関連を図ったり、児童が達成感をもつための手立てや工夫をしたりして、家庭での実践意欲につなぐことが大切である。
- 指導に生かす評価方法については、さらに研究を深める必要がある。

4 実践事例

(1) 授業の概要

◇題材名 5年「じょうずに使おう お金と物」

授業者 乙女小学校 甲斐 郁子 教諭

本題材は、物や金銭の計画的な使い方に関心をもち、適切に買い物をしようとする意欲や目的に合った物の選び方や買い方ができる実践的な態度を育てることができる題材である。小題材「買い物のしかたを考えよう」では、購入しようとする物の品質や価格などの情報を得て、適切な物の選び方がわかることをねらいとしている。本時では、「家族とほっとタイム」で家族のために作るフルーツヨーグルトの材料であるヨーグルトを選ぶために、どのようなことに気をつけるかについて考える授業が展開された。5つのヨーグルトの情報（ねだんや量、賞味期限や原材料など）を確認し、どのヨーグルトを選ぶのか、選んだ理由を発表し、意見を交流した。5つのヨーグルト（実物）が提示されていたので、児童は実際に手に取ることができ、家族の人数や好みなども考えて目的をもって選んでいる姿が印象的だった。このような実践的な活動を通して学んだことを家庭生活に生かしていくことが大切である。



【ヨーグルトの表示を確認】



【選んだ理由を発表し、意見交換】



【買い物の達人第三条を発表】

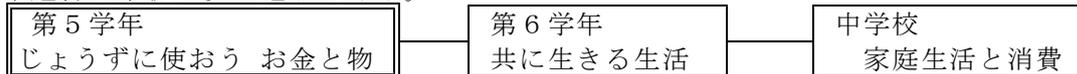
(2) 学習指導案

1 題材名 じょうずに使おう お金と物（開隆堂）

2 題材について

- (1) 本題材は、指導要領D【身近な消費生活と環境】の内容を単独で学習する唯一の題材である。指導要領では、(1)物や金銭の使い方と買い物について「物や金銭の大切さに気づき、計画的な使い方を考えること」「身近な物の選び方、買い方を考え、適切に購入できること」を指導することとなっている。この題材で学習したことを、他の内容の学習で生かせるようにするとともに中学校のDの内容の基礎となる学習である。また、この学習の目的は、お金と物の使い方を児童が自分の生活体験からふり返り、工夫して買い物ができるようになることである。そのために、自分や家族の生活とお金や物を結びつけて考えさせることが大切となる。「児童にとって身近なお金や物を取り上げ、生活場面を具体的に見つめる」「チラシやパンフレット、レシートなど実物を取り扱う」などの工夫を取り入れる。家庭での取材も併せて、お金はどのようにして得られ、どのようなことに使われるかを考えたうえで、カレー作りゲームやヨーグルト選びなど、買う目的を設定し、身近な物を買う条件や買い物の仕方を学習する。そして、物を最後まで大切に使うことや計画的にお金を使う必要性に気づかせていくことができる学習である。

(2) 本題材の系統は次の通りである。



(3) 指導にあたっては、以下の点に留意する。

- ・家庭での金銭の具体的な使い方や児童自身の身近な購入体験をふり返り、金銭が自分や家族の生活を支えているという実感がもてるようにする。
- ・「私たちの生活とお金」では、家庭生活で必要な物やサービスの購入で支出する内容が何かを取材する。家計で使われているお金の内訳を予想してタブレットで入力する。その際、熊本市の平均の支出を提示する。家庭のお金が色々な物に使われていることを実感し、限りある物で大切にしなければならぬこと、収支と支出のバランスを理解させる。
- ・「カレー作りゲーム」では、与えられた条件で何を買うか意志決定ができる場とし、目的意識を持たせ、なぜそれを選んだかの理由が言えるようにする。
- ・「お金や物の使い方を考えよう」では、自分が実際に買う場面を想定させ、買い物の手順を学び、いろいろな視点で考えたり、根拠をもって選んだり、言語活動も取り入れながら自分の言葉で発表させ、その後の買い物活動へ生かす。
- ・消費者の一人として、お金の支払い方も学び、現金を使わなくても物が買えることも知り、便利だけでなく使い方に注意することも学習する。
- ・買い物の達人になるための〇か条を生かして、実際に買い物をする。

3 題材の目標

- (1) 物や金銭の計画的な使い方に関心をもち、適切に買い物をしようとする。
 (2) 目的合った物の選び方や買い方ができる。

4 指導計画（4時間）

時	小 単 元 名	時間	学 習 内 容	他教科との関連
1	わたしたちの生活とお金	1	・家庭の収入と、家族の生活を支えてるお金が何に使われているか考え、お金の大切さに気付く。	
2	買い物の仕方を考えよう	1 1 本時	・買い物の手順を考える。 ・カレー作りゲームを通して目的に応じた買い物を考える。 ・目的に合わせて、品物を買う観点について知る。 ・買い物の手順を考える。 ・品物を自分なりに工夫して選ぶ。	・環境問題について考えよう。 (総合)
3	買い物の達人になろう	2	・「買い物の達人〇か条」をもとに、実際に買い物をする。	

5 本時の学習

(1) 目標

購入しようとする物の品質や価格などの情報を得て、目的に合った品物を考え、工夫して選ぶことができる。

(2) 展開

過程	学習活動	○主な発問や指示 ・予想される児童の反応	・指導上の留意点と評価	備考
導入 10分	1 前時の学習をふり返る。 2 本時のめあてを確認する。	○買い物をする時に気をつけたいことは何ですか。 ・値段・賞味期限・材料 ・どこで作られたか ○「家族とほっとタイム」の単元では、家族のためにフルーツヨーグルトを作ります。材料はヨーグルトです。 ○「条件は、①500円以内でヨーグルトとフルーツを	○前時にまとめたことを発表させる。 ○「家族とほっとタイム」で作るためにヨーグルトを選んで買う、目的意識をもつようする。 ○ヨーグルトを買う時の条件を提示する。	

買います。②家族に合わせて選びます。

商品を選ぶときは、どのようなことに気をつけるとよいでしょう。

展開
30分

- 3 ヨーグルトの情報を比較して、目的に合ったヨーグルトを選ぶ。
- (1)全体でヨーグルトの情報を確認する。



- (2)どのヨーグルトにするのか各自考えて選ぶ。

- 4 全体で、選び方や買い方を発表し、意見を交流する。

- 5 どれを買うのかを確認する。



- 6 「買い物の達人第三条」を書く。

- それぞれのヨーグルトはどんなヨーグルトですか。



- 5つのヨーグルトから1つ選んで口に書きましょう。
- ・Aは、熊本県産だからいい。生乳100%おいしそう。
- ・Bは、テレビでも宣伝される。マークが付いている。
- ・Cは、量が少なく小分けしてあるから量を調整しやすい。
- ・Dは、安くてたくさん入っている。脂肪0カロリーがいいけど賞味期限が短い。
- ・Eは、安くていいな。

- どのヨーグルトを選びましたか。選んだ理由も教えてください。



- 友だちの意見を聞いて、もう一度買う物を確認しよう。

- 買い物をする時のポイントを書きましょう。

- 品物を選ぶ観点を共通確認する。

- ヨーグルトの基本情報を全体で確認することで、それぞれの情報をしっかりとつかませる。

- ・Aは、400g (62円) 熊本
- ・Bは、450g (28円) 福岡
- ・Cは、180g (71円) 山口
- ・Dは、賞味期限が短い
- ・Eは、380g (26円) 山口

- 5種類から1つ選び、選んだ理由をワークシートに書く。

- どの観点を重要視したのかを表などにまとめるようにする。



- 発表する際は、選んだ理由を明確に言えるようにする。

- 発表した児童と同じ品物を選んだ児童は、ネームカードを貼らせ、理由を述べるようにする。

品質や価格などの情報を活用し、目的に合った物の選び方や買い方について考えたり、工夫したりしている。(創意工夫)

- 変更する場合は、理由も整理して書く。



- 本時の学習のめあてに沿った「買い物の達人第三条」をつくる。

ヨーグルト
5種類

ワーク
シート

ネーム
カード

まとめ
5分